

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院消化器外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2011年11月1日 ～ 2017年10月31日の間に、胃癌のために虎の門病院消化器外科に入院・通院し、胃癌根治術を受けられた方

【研究課題名】

細分化した胃幽門下リンパ領域（#6a、#6i、#6v）の郭清意義の長期予後からみた検討

【研究の目的・背景】

《目的》

胃幽門下リンパ領域を細分化（#6a、#6i、#6v）することで、各領域の郭清効果の検討を行い、病変の部位と深達度から見た適切な郭清範囲の検討を行い、さらなる安全な手術につなげることを目的としています。

《研究に至る背景》

胃癌の幽門下リンパ領域は複雑な構造をしており、手術リスクの高い部位となっています。この部位を3領域に細分化するという考え方を私たちは2011年ころから提唱し、それが広く受け入れられたことから2017年の胃癌取扱い規約でこの領域を細分化した分類法が掲載されました。しかし、それぞれの領域のリンパ節郭清（胃癌の転移するリスクのあるリンパ節を遺残なく切除すること）の意義は明らかとなっていません。この研究を通じて、その意義を明らかとし、手術の安全性を高めていきたいと考えています。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2018年4月4日 ～ 2024年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 本研究の個人情報管理責任者の虎の門病院消化器外科

の春田周宇介 のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報： 評価項目は、性別、年齢、術式、郭清度、病理深達度、リンパ節転移度、脈管侵襲、ステージ、手術根治度、術後再発の有無、時期、薬歴、看護記録などの項目についてカルテ情報を収集する。

【研究代表者】

虎の門病院消化器外科部長 上野正紀

【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院消化器外科部長 上野正紀

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。
また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、 2022年12月31日 までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 消化器外科 ・ 春田周宇介
電話 03-3588-1111(代表)